令和５年度 事業計画

海外の紛争によって世界経済は大きな影響を受け、エネルギーや食糧などの価格上昇などから、日本国内でもインフレが加速しております。

また、国内では新型コロナウイルス感染症の影響も長引き、感染拡大前の状況にいかに早く戻すか、日常生活や経済活動などの行動制限緩和について不安も多い中で議論され始めました。

川越市においては、昨年度に市制施行 100 周年を迎え、川越まつりなど市内の催事も再び開催されました。また、国内の行動制限も解除され観光客も増え、少しずつ以前の活気を取り戻しつつありますが、依然として少子高齢化が進行する中、人手不足により市や民間企業などからはますますシルバー人材センター会員の活躍が期待されております。引き続き市や関係機関と連携しながら当センターの事業活動を一層強化・充実させる必要があります。

令和５年度は、10 月からのインボイス制度（適格請求書等保存方式）の導入もありセンターを取り巻く環境は厳しい状況ですが、第４次中期５ヵ年計画に基づき、安全対策を講じながら、会員の増強や就業機会の拡大、安全・適正就業の徹底を柱に、地域高齢者福祉の担い手として社会の発展に貢献できるようシルバー事業を推進してまいります。

◎令和５年度の重点実施事業

①会員の増強

出張入会説明会を継続して開催するとともに、「会員ご紹介カード」の活用やホームページの充実を図ります。

また、市民も参加できる講座やイベントなどを企画し、シルバー事業を周知し、会員の増強に努めます。

②就業機会の拡大

派遣事業による就業機会の拡大を図ります。また、昨年度実施した資格等のアンケート結果を活用し、就業機会の確保に努めます。

更に、各地域への出張就業相談会のほか、未就業者への電話によるコミュニケーションを図り、就業機会の提供に努めます。

③安全・適正就業の徹底・推進

事故事例や事故防止の情報共有を図るとともに、安全標語を活用し安全就業意識の周知徹底に努め、事故撲滅を目指します。

また、フレイル予防教室など健康管理に役立つ講習会等の実施や適正就業について継続的な推進に努めます。

④財政基盤の確立

令和５年 10 月から導入されるインボイス制度（適格請求書等保存方式）に向けた事務処理の整備と納税に対応する財政基盤の安定化に努めます。

１．会員の増強と普及啓発の促進

（１）会員の口コミによる一人一声運動を拡充するため、「会員ご紹介カード」の活用を通じて、会員の増強を図ります。

（２）女性会員の就業体験発表や交流会、趣味講座など効果的な広報活動を行い、市民の参加を呼び掛け女性会員の増強に努めます。

（３）出張入会説明会や入会説明会を充実させ、会員の増強を図ります。また、ホームページの活用による入会説明会や入会申し込みについて検討します。

（４）法人及び個人の賛助会員の拡大に努めます。

（５）多くの会員が参加でき、親しみやすい会報となるよう努めます。

（６）ホームページの充実を図り、シルバー事業に関する情報発信に努めます。

（７）市民が気軽に足を運べる場所での会員作品展や一緒に参加できるイベントなどを開催し、効果的な事業周知に努めます。

（８）市庁舎、公共交通機関など様々な広告媒体の活用や、市内各種イベントに積極的に参加し、シルバー事業の普及啓発に努めます。

２．就業機会の拡大と未就業会員の解消

（１）派遣事業による新規就業先の開拓のほか、請負事業や職業紹介事業を有効に運用し、会員の就業機会の確保・拡大に努めます。

（２）「出張就業相談会」を継続して実施するとともに、未就業者への電話による現況確認や就業相談を行い、就業機会の提供に努めます。

（３）会員の有資格状況を活用し、企業ニーズを的確に把握しながら就業機会の拡大に生かします。

（４）ショートメッセージサービス（SMS）で積極的に就業情報を発信し、未就業会員の解消に努めます。

（５）迅速な受託体制がとれるよう、「学童保育補助員業務」や「市広報紙配布業務」など職種に応じて「就業希望者の登録制度」の拡充を図ります。

（６）就業を取り巻く不安やストレスを解消し、会員の就業満足度や顧客満足度の向上を目指し就業環境巡回を実施します。

（７）長期間、長時間就業の是正に取り組むとともに、公募条件の緩和も検討し多くの会員に就業機会を提供します。

（８）社会情勢に合せた就業機会の拡大を図るため、「空き家サポート事業」のほか、「墓地清掃サポート事業」を新たに展開します。

３．安全・適正就業の徹底

（１）トラブル・クレームや傷害事故・賠償事故の事例を踏まえ、定期的に就業現場の安全巡回を実施し、事故撲滅に取り組みます。

（２）危険な猛暑日の就業等について、ショートメッセージサービス（SMS）を活用して熱中症対策等の周知を図り、安全就業の徹底と事故防止に努めます。

（３）７月の安全・適正就業強化月間では安全就業の啓発活動を組織的に展開するとともに、「安全ニュース」を発行し事故事例や事故防止の情報共有を図り安全就業意識の向上に努めます。

（４）会員から募った安全標語を活用し、安全就業への意識啓発を図り、事故撲滅を目指します。
（５）事故・クレーム発生時は、速やかに事故検証を行い、再発防止対策に努めます。
（６）健康診断受診の啓発のほか、健康維持に役立つ体力測定会やフレイル予防など健康管理教室を企画し、参加しやすい地域で開催し、多くの会員に健康への関心や意識の高揚を図ります。
（７）就業環境や就業形態を確認し、適正就業の推進に努めます。

４．研修・講習内容の充実
（１）発注者や地域社会から一層の信頼を得られるよう、また、トラブル・クレームなどの再発防止のため、就業上の心構えや接遇に関する研修会を実施します。
（２）今後の事業活動に向けた理解と協力を深めるため、入会３年を経過した会員を対象に研修会を開催します。
（３）事業理念に沿った組織体制の確立のため、地区長や班長・副班長、仕事別グループリーダー・サブリーダーなどを対象とした研修会を実施します。
（４）技術・技能を必要とする職種の研修・講習会を実施し、後継者の育成に努めます。
（５）防犯や健康管理など関心を寄せる研修・講習会の開催に努めます。
（６）AED（自動体外式除細動器）の取扱方法を含めた普通救命講習会を実施し、就業会員を中心に技能習得を図ります。
（７）情報取得・共有ためにＩＴ活用、デジタル化推進に向けた講習会を開催します。

５．地域活動の強化と組織体制の充実
（１）地区長や地域班長を中心とした地域班組織の充実と情報の共有化を図り、会員による地域の自主的な交流機会が得られるよう努めます。
（２）仕事別グループと事務局との連携を図り、就業体制の組織強化に努めます。
（３）組織活性化のため、各種事業や委員会への会員参画を促進します。
（４）地域でできる業務は、地区長・班長などと連携を図り、就業体制の強化に努めます。
（５）川越まつり事前清掃ボランティアや市民の日のボランティアガイドなどの社会奉仕活動に取り組みます。

６．財政基盤の確立
（１）ITの活用に努め、事業運営に係る諸経費を見直し、経費節減に努めます。
（２）インボイス制度（適格請求書等保存方式）の開始に係る事務処理の整備を図ります。
（３）安定した財政基盤の確立のため、自主財源の確保に努めます。